

KANDAI NEWS

■ 関大ニュース

SDGsを考えるきっかけに。ギフトで学生を応援



▲前田裕学長(左)からギフトを受け取る学生

12月20日と21日、関西大学ならびに関西大学教育後援会は、「年末学生支援企画」として、抽選で学生500人に食品や日用品等をプレゼントした。

本企画は物価高の影響を受けている学生の応援が目的で、今年で4回目。フードロスの削減を通してSDGsを考えるきっかけになることを願った賞味期限間近の菓子をはじめ、米やツナ缶、豚汁などの食料品、ティッシュや洗剤などの日用品、そして季節物の年越しそばや鏡餅などもセットに加えられた。また、抽選にもれた学生には菓子やミネラルウォーターが配付された。



▲バラエティ豊かな食料品や日用品の数々

第一中学校・第一高等学校の新校舎「景風館」の竣工式を挙行



▲関西大学第一中学校・第一高等学校の新しい学びの空間「景風館」

12月21日、創立110年を迎えた関西大学第一中学校・第一高等学校で、新校舎「景風館」の完成を記念する竣工式が挙行された。

かつての「景風館」の跡地に建てられた新しい学びの空間も「景風館」と命名され、当日は芝井敬司理事長をはじめとする関係者が参列。式後には同館メディアライブラリーにて、記念セレモニーと内覧会も開催された。



記念セレモニーの様子

吹田第一中学校区・豊津中学校区の小・中学生がクラブに1日体験入部



▲バトン・チアリーダー(左)やサッカー(右)のクラブ1日体験を行う参加者



東体育館に集合した豊津中学校区の参加者たち

地域教育協議会とスポーツ振興グループの連携による1日体験入部が千里山キャンパスで開催され、12月17日に吹田第一中学校区で約200人、1月21日に豊津中学校区で約160人の小・中学生が参加した。

各日、小・中学生たちは体験入部を希望するクラブに分かれ、各クラブがそれぞれ考えた練習メニューを体験。約90分にわたり、大学生と触れ合いながら和気あいあいとスポーツや演奏を楽しんだ。また、終了後には、東体育館メインアリーナにて応援団による演舞演奏が行われ、その迫力に引率の教職員や保護者も目を奪われていた。

飛沫防止用アクリル板がフォトスタンドに生まれ変わる コロナ禍に入学した卒業生の卒業記念品に

関西大学と関西大学教育後援会は、2024年3月卒業の大学生・大学院生約7,000人を対象に、学内で使用していた飛沫防止用アクリル板パーテーションを再利用したフォトスタンドを製作し、卒業式に記念品としてプレゼントした。

今春の卒業生は、コロナ禍での入学となり、貴重な大学生活をさまざまな制約の中で過ごした。フォトスタンドには、「密を避けつつ仲間と築いた絆を目に見える形で残してほしい」「卒業式では仲間や家族、お世話になった方々と笑顔で写真を撮ってもらいたい」「SDGsへの関心を持ち続けてほしい」などの願いが込められている。



▲記念品には擬人化されたアクリル板からのメッセージカードも添えられた

KANSAI UNIVERSITY SOCIAL MEDIA

